



人と科学のステキな未来へ

コスモ・バイオ株式会社



抗 RanBP2 (ヒト)抗体,ウサギ血清

71-003 50 μ l 71-004 250 μ l

RanBP2 はスモール GTP 結合タンパク質 Ran と相互作用するタンパク質として同定され、多数のタンパク質と巨大な複合体を細胞内で形成している。このタンパク質は 3,224 のアミノ酸を含みウエスタンブロッティングで 360 kD のタンパク質として同定される (下図、Ref.1) このタンパク質は mRNA のプロセッシング、タンパク質の核輸送、細胞分裂後の核膜の再構築、細胞周期の制御など多機能に關与する。

本抗血清は RanBP2 の保存された 3 回繰り返し配列 SKAPKSGFEGMFTKKE の合成ペプチドを抗原として西本ら(九大)によって作られた (文献 1)。

用途:

1. ウエスタンブロッティング(x 2,000 希釈)
2. 免疫沈降
3. 間接免疫法による細胞中の抗原染色

製品の性質

性状: 0.09%のアジ化ナトリウムを添加した抗血清

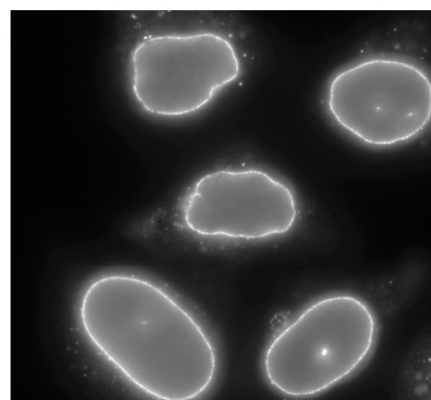
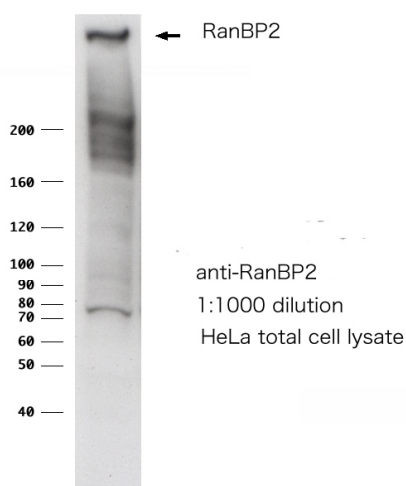
反応生: ヒト RanBP2。

保存: 4 (長期 -20)

文献: 本抗体は以下の文献に使用されている。

1. Yokoyama N et al. Nature 376;184 (1955)

関連商品: pEGFP-RanBP2 cDNA (問い合わせ)



Para formaldehyde fixed HeLa cells
stained with anti RanBP2 (551-2)
(1:2000 dilution)